

呉市^{ときめき}土木未来プラン後期実施計画（案）について

1 呉市土木未来プラン後期実施計画の策定

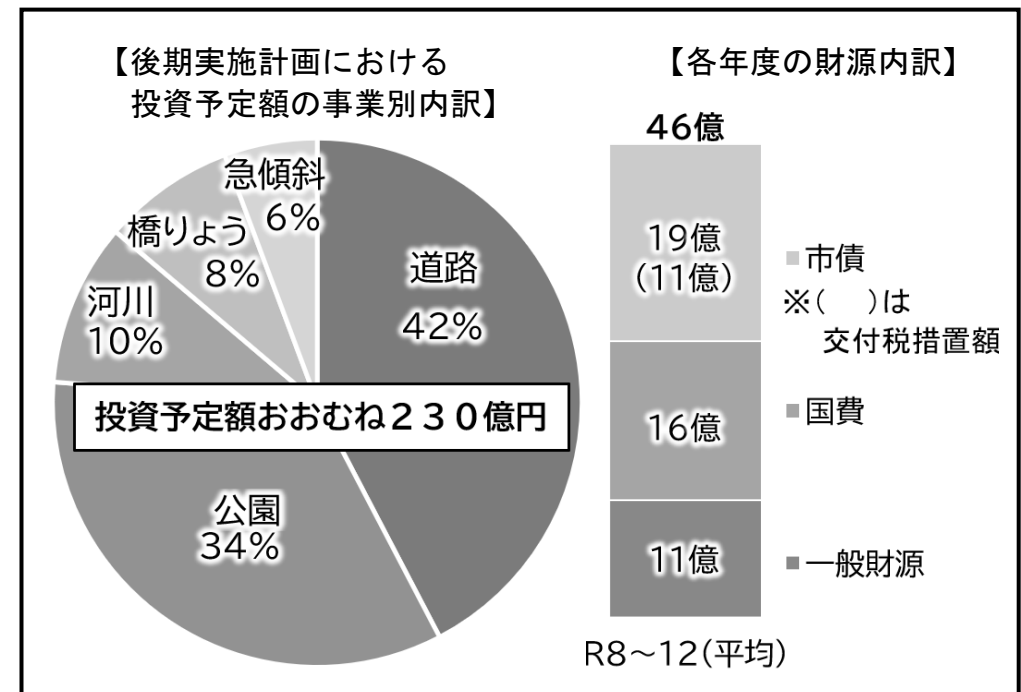
呉市土木未来プラン後期実施計画（以下「後期実施計画」といいます。）の策定に当たり、令和7年12月開会の産業建設委員会で報告を行った素案について、精査を行い、後期実施計画（案）を作成しましたので報告します。

(1) 投資予定額（本編3ページ及び33ページ）

後期実施計画の計画期間（令和8年度から令和12年度までの5年間）における投資予定額は、計画の目的を達成するために必要な事業を精査した結果「おおむね230億円」とします。

投資予定額の事業別内訳は、道路事業が約4割、公園事業が約3割、残る河川、橋りょう及び急傾斜事業が合わせて約3割となっています。

なお、事業の実施に当たっては、国の補助や財政的に有利な市債などを積極的に活用して事業費を確保することで、市の財政負担の軽減を図ります。



(2) 事業実施箇所（本編 3 2 ページから 4 1 ページまで）

後期実施計画における各事業の実施箇所については、次のとおりです。

【後期実施計画における実施箇所数】

（単位：か所）

事業名	区分	完成	継続	合計
道 路 (改築系)	道路改良	1 3	8	2 1
	交通安全	8	1	9
	小 計	2 1	9	3 0
道 路 (補修系)	橋りょう耐震補強	4	4	8
河 川	河川改良	1 5	2	1 7
急傾斜	急傾斜地対策	1 5	0	1 5
公 園	公園整備	1	2	3
合 計	—	5 6	1 7	7 3

※完成・・・後期実施計画期間内で完成する箇所数

継続・・・後期実施計画期間以降も継続する箇所数

(3) 指標（本編 1 2 ページから 2 7 ページまで）

呉市土木未来プランにおいて掲げる、社会資本を適切にマネジメントしていくための三つの基本方針を達成するために、次のとおり指標を設定します。

【指標一覧】

1 社会資本の適正な維持管理

指標名	基準値（R 6）	目標値（R 1 2）
インフラ施設の老朽化対策と、迅速かつ効率的・効果的な維持管理		
老朽化した橋りょうの整備箇所（累計）	1 4 8 橋	2 1 9 橋
老朽化した公園施設の更新数（累計）	1 9 6 基	3 0 0 基

2 社会資本ストックの有効活用

指標名	基準値（R 6）	目標値（R 1 2）
既存ストックの機能改善・多目的利用，ハードと一体となったソフト対策		
市道の無電柱化の完成延長	7. 6 k m	8. 2 k m
路上イベント等の件数（年間）	3 6 件	5 0 件

3 社会資本整備の重点化

指標名	基準値（R6）	目標値（R12）
重点化項目① 激化する異常気象と自然災害に対する防災・減災、^{じん}強靱化対策		
河川改良の実施箇所数（累計）	19河川	37河川
急傾斜地崩壊対策工事の実施箇所数（累計）	754か所	764か所
重点化項目② 災害に強い道路ネットワークの構築		
緊急輸送道路、重要物流道路の橋りょう、JRこ線橋の耐震化率	10%	33%
老朽化した橋りょうの整備箇所（累計）【再掲】	148橋	219橋
重点化項目③ 物流の効率化による生産性の向上		
呉市内の主要渋滞箇所における年間渋滞損失時間	約142万時間	約102万時間
緊急輸送・重要物流道路改良の完成延長	1.3km	2.1km
重点化項目④ 交流人口の拡大、観光周遊の更なる活性化		
観光消費額（年間）	141億円	385億円※
呉市内の主要渋滞箇所における年間渋滞損失時間【再掲】	約142万時間	約102万時間
重点化項目⑤ 持続可能なまちづくり		
全人口に対する居住誘導区域内人口の割合	50.4%	53.4%
通学路交通安全プログラムに基づく通学路安全対策の完了箇所数（要対策箇所数：141か所）	128か所	138か所
市道の自転車通行空間の整備済延長	5.4km	7.2km
重点化項目⑥ 環境保全と循環型社会の構築		
温室効果ガスの排出量	(R4) 3,228千t-CO ₂	2,755千t-CO ₂ ※
人口1人当たりの公園面積	10.49㎡/人	現状維持※

※現時点での目標値であり、各関連計画の策定及び改定等に合わせて再検討します。

2 今後の予定

令和8年4月に呉市ホームページにて後期実施計画を公表します。

なお、国・県事業の実施箇所については、広島県による次期事業別整備計画の策定後に掲載します。